

防災部長研修を開催しました！

11月8日、昨年度に引き続き、本能自主防災会の総会に合わせて『防災部長研修(町内会の防災リーダー研修)』を開催しました。

『防災部長研修』では、「防災まちづくり」の講習の後、災害に強い本能学区を目指して、今年度作成予定の『本能学区防災まちづくり計画』の骨子となる将来像と目標、方針を確認するとともに、災害に強い本能学区をつくるための町内会の取組について、参加者のみなさんで話し合いを行いました。

災害に強い本能学区をつくるための方針については、「方針1 隣近所、町内会の繋がりを育む」、「方針11 地域の宿泊施設等と連携する」、「方針3 一人ひとりが「防災」に対する意識を高める」、「方針2 町内会の防災力を高める」の順に、大切だという意見を頂きました。

町内会の取組については、学区や町内会の行事への参加の呼び掛け、災害時に安否確認が必要な方の確認、町内の集まりの際に「防災」の話をするためのアイデア等について意見交換を行いました。また、災害時にマンションやホテル等の宿泊施設との連携を進めていく必要性や町内会としてできること等についても話し合いました。

『町内会の取組』と取組のポイント等

11票

方針1 隣近所、町内会の繋がりを育む

【町内会の取組】学区や町内会の行事への参加を呼び掛ける

- ・地域の行事も多く、呼び掛けは可能。子どもが多い、子ども繋がりで呼び掛け。子育て世帯は参加してくれる。
- ・マンションの中での行事をつくる。同じマンションの住民同士なら参加しやすい。

7票

方針2 町内会の防災力を高める

【町内会の取組】災害時に安否確認が必要な方を確認する

- ・敬老会の参加者をチェックして、町内会の高齢者を把握する。
- 【町内会の取組】災害時の安否確認や救出救護などの役割を確認する
- ・町内会のレクリエーションの際に、ビンゴゲームで新住民を紹介している。

8票

方針3 一人ひとりが「防災」に対する意識を高める

【町内会の取組】総会や地蔵盆など、町内の集まりの際に「防災」について話をする

- ・取組の中心になる人を増やすことが大事。みんなが防災部長！の意識を持ち、みんなで確認する。

10票

方針11 地域の宿泊施設等と連携する

【町内会の取組】災害時におけるマンションやホテル等の宿泊施設との連携を進める

- ・町内会のまとまりが必要。町内会として言いたい事を言う機会を作る。

『防災部長研修』参加者アンケートのまとめ

問1:『防災部長研修』に参加された感想は？

・自分が住んでいるところなのに知らないことが多かった。また町により違う考えがあることがわかった。

・災害に対応することを改めて考えさせられました。

・色々な意見発表を開き、自分自身も知らないことも知ることができ、参加してよかったと思いました。

・日々考えていかなければいけないことを改めて考えました。私たちの日々の生活のありがたさ、防災の大切さを思います。

・改めて防災の大事さを感じましたが、町内に伝えることができるとか考えました。町内の消防団の人とも相談して、町内の集いの時に話ができたらと思います。

・様々な意見をいただき、勉強になりました。各個人の意識が重要です。その意識を持った人を育てることが最重要。

・まだまだわからないことが色々ありました。

・この様な機会を各町内の役員を対象にしてやっても良い。

・防災研修会は大変良いことであると思いました。

・コロナ禍によって、なかなか機会がありませんが、このような研修の場は必要であると改めて感じました。

・町内によって、課題の違いが見えてきました。

「防災まちづくり」とは

「防災まちづくり」は、災害が起る前から、災害に強く、住みよいまちを実現するため、建物(いえ)や道、まち全体の安全を高めるまちづくりの取組です。地域の現状や防災上の課題の把握、課題解決の検討、計画づくり、対策の実行まで、地域と行政、専門家等と一緒に取組を進めています。

問2:災害に強い学区にするためのアイデア等

・町内での防災計画ができればよいと思います。

・住んでいる町内から本能館へ行くことは難しい。町内にあるマンションやホテルと連携できればと思います。

・学区民に防災食の配布で使い方等を意識づける。

・日頃の住民の声かけ(顔見知りになる)が必要。そのため「防災」の話をストリートにするのではなく、運動会やレクリエーションで仲良くなる。

・一度限りにしない研修が大切だと思いました。

・環境の変動で防災意識は高まっているので、やはり楽しさを持った企画を考えて欲しい!

・私自身もマンションの住人です。管理組合で具体的な検討提案を行います。

・マンション住民が参加してくれそうな行事を考える。

・近所のつきあいが大事!

・「京都らしく」が本能学区らしさだと思っています。



4つのグループの話合いの結果を確認しました!



町内会が取り組むべきことについて話し合いました!



災害に強いまちにするための本能学区の方針を考えました!

3年間の取組を振り返り「防災まちづくりの指図」をまとめよう！

災害に強いまちを目指して取り組んできた様々な「防災まちづくり」活動の中で、住民のみなさんから頂いたご意見を踏まえ、今年度、『本能学区 防災まちづくり計画』を取りまとめます。本能自治会館前に、ご意見等の投函箱を設置しておりますので、お気軽にご意見をお聞かせください。

災害に強いまちにするためのアイデア等、ご意見等をお願いします！
(何を書いて頂いても構いません)

自治会館前の掲示板等に設置してあります！
(1月17日頃まで設置予定です)



総合防災訓練

避難所運営ゲーム（ゲーム感覚で避難所運営を学習）の体験、「防災まちづくり」の学習、「防災まちあるき」の再確認

- ・より多くの人に防災まちづくりを広めてほしい
- ・町内で緊急時に指示できる人を事前に決めておく



防災部長研修

（町内会の防災リーダー研修）それぞれの町内会で安否確認や救出救護が必要な高齢者等の確認、昭和25年以前の建物等の確認等



防災まちあるき

路地や建物等の現状、防災上の課題や災害時に役立つ資源を確認。まちあるき後ワークショップで共有

- ・防災、減災には住民間のコミュニケーションが大切。住民同士のあいさつ、声掛けが住民の安全確認等につながる

住民アンケート調査

町内会（防災部長）を通じたアンケート調査により、防災に対する住民の想いやニーズ等を確認

- ・災害時の不安、課題
- ・災害に備えた取組状況の確認
- ・災害に強いまちをつくるための考え方 等

防災まちづくりマップ（「地域の集合場所」等のまとめ）

防災部長研修（町内会の防災リーダー研修）

目指す将来像や防災まちづくりの方針など、計画案に対する意見交換（ワークショップ形式）。町内会の役割分担等の検討など、計画づくりに必要な意見を把握。

総合防災訓練

本能学区をイメージした避難所運営ゲーム（ゲーム感覚で避難所運営を学習）。

『防災まちづくり計画』（まちの将来像や基本方針等）の骨子案

現状や課題、住民のみなさんの想い等を踏まえ、災害に強いまちをつくるための考え方、取組・進め方等を取りまとめます。

【目指すまちの将来像】**便利で快適な暮らしを維持しつつ、安心して暮らせる災害に強い本能**

目標 1

ご近所、町内会の繋がり、助け合いで安全な「暮らし」をつくる

方針1 隣近所、町内会の繋がりを育む

方針2 一人ひとりが「防災」に対する意識を高める

方針3 町内会の防災力を高める

目標 2

京都市らしさを大切にしつつ、災害に強い「いえ」をつくる

方針4 自宅の安全性を高める

方針5 空き家の対策や民泊の対応を考える

方針6 マンションの災害に備える力を育てる

目標 3

日々の暮らしを支え、災害時にも安全に避難できる「みち」をつくる

方針7 避難できる「通り」を整える

方針8 「路地」の安全性を高める

目標 4

地域の特徴を活かした安全な「まち」をつくる

方針9 「地域の集合場所」の安全性を高める

方針10 避難所の防災機能を高める

方針11 地域の宿泊施設等と連携する



今回参加した防災ワークショップでは、町ごとに見られる課題の再確認と、課題解決に向けたアイデアについて話し合いました。目に見える大きな課題だけでなく、地域の細かな実情についても様々な意見が交わされ、皆さんの日頃からの防災意識の高さが、深く伝わってきました。

田中智朗（大学院修士課程）

私が本能学区に関わらせて頂いたのは今回が初めてでしたが、これまで取り組まれてきた防災まちあるきやワークショップなどの活動が、地域の防災力を着実に高めているということを強く実感しました。まちづくり活動を継続的にやっていくことの大切さを、身をもって知ることができた。貴重な貴重な経験となりました。



令和3年度
(3年目)

令和2年度
(2年目)

令和元年度
(1年目)